学習内容報告書 フォーマット

学校名	浜松市立伊目小学校
授業者	野澤さおり

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

伊目地区の環境を見つめよう（浜名湖学習）

1-2.　学年

５学年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4.　単元の概要

浜名湖の自然環境に対する理解を深め、湖や海への関心を深めるために、様々な調査活動や体験活動を設定した。初めに、浜名湖に生息している生き物の様子をつかむために、浜名湖の水生動物の生態に詳しい専門家の話を聞く。その話を聞くことで、自分たちが住んでいる地域にある浜名湖への関心を高めさせる。そして、湖岸清掃をすることで、浜名湖の汚れの実態を肌で感じさせる。そこから、水質調査や浜名湖体験学習施設の見学、遊覧船をチャーターしての湖の観察を行うことで、浜名湖の自然環境についての理解を深めさせる。また、丸太船で台湾から与那国島まで横断航紀した「３万年前の航海徹底再現プロジェクト」メンバーの鈴木克章さんの講演会を設定し、海の広大さや厳しさ、素晴らしさを聞くことで海の魅力を感じさせる。これらの体験活動の後、浜名湖の環境について自分が設定した課題について調べ、まとめ、発表することを通して、浜名湖の自然環境についての理解を深め、さらに、これからの生活に生かしていくことを考えさせたい。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

本校の近くには、浜名湖が広がり、一年中多くの鳥が往来し、様々な魚が生息している。非常に自然が豊かなところであるが、あまりにも身近であるために、その自然の様子を知ろうとする意識が薄く、その良さに気付いていない児童がいる。そこで、浜名湖の自然を肌で感じる体験活動や、自然環境についての調査活動を設定することで、その良さを実感するとともに、湖岸環境に対する理解がより深まると考え、この単元を設定した。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

・浜名湖について関心をもち、課題を見付けようとする力（課題を設定する力）
・浜名湖についての課題を解決するための方法を考え、詳しく調べようとする力（情報を収集する力）
・集めた情報の特性に応じて、適切なまとめ方をする力（まとめる力）
・伝えたいことを選んで自分の考えが分かるように表す力（伝える力）

1-7.　単元の展開（全　21　時間）　※　湖岸清掃は行事として扱う。

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	○浜名湖の生き物を調べよう。 ・浜名湖の生き物に詳しい専門家の方から、浜名湖に生息している生き物についての話を聞く。	※三ケ日青年の家指導部の方に来ていただき、湖にいる魚や貝類、ウナギの養殖等の話をしていただく。 ※魚や貝等の写真、パソコン等
※(1)行事	○浜名湖をきれいにしよう。（第１回湖岸清掃） ・浜名湖をきれいにするために、湖岸清掃を行う。	※全校で湖岸清掃を行う。清掃を行う前に、代表児童が清掃に趣旨を説明することで、海洋環境への関心と理解を深める。 ※ごみ袋、軍手等
2	○浜名湖の水を調べよう。（水質調査） ・地域の川や浜名湖の水を調査するとともに、市の環境政策課の方から、川や湖の水質保全についての話を聞く。	※浜松市環境政策課の方に来ていただき、地域の川や湖の水質を調べるとともに、水質を保つことの重要性についての話を聞く。 ※水質調査キット（川の水調査セット、パックテスト）
※(1)行事	○浜名湖をきれいにしよう（第２回湖岸清掃） ・浜名湖をきれいにするために、２回目の湖岸清掃を行う。	※第１回目の湖岸清掃でできなかった箇所のごみを拾う。 ※ごみ袋、軍手等
2	○浜名湖を整えている様子を見学しよう。 ・浜名湖岸近くで行われている浚渫工事の様子を見学する。	※建設会社の協力を得て、学校近くのマリーナから船を出していただき、航路の安全を確保するための浚渫工事の様子を見る。 ※見学シート
2	○浜名湖に生息する水生動物を見てみよう。 ・浜名湖体験学習施設へ行き、浜名湖の水生動物を実際に見て、生態を調査する。	※浜名湖体験学習施設「ウォット」に行き、浜名湖にいる水生動物の様子を観察する。 ※見学シート
2	○浜名湖に行き、自然の様子を調べよう。 ・遊覧船に乗り、湖の様子を見るとともに、船の運転士から、浜名湖の自然や湖の様子、生息している生き物等についての話を聞く。	※遊覧船をチャーターし、学校近くのマリーナから浜名湖南に位置する浜名湖ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊﾟｰｸまで遊覧する。 ※見学シート

2	○海の話を聞こう。 ・冒険家鈴木さんからシーカヤックの乗り方を教えていただいたり、丸木船での航海の話を聞いたりする。	※国立博物館「３万年前の航海徹底再現プロジェクト」メンバーだった鈴木克章さんの話を聞く。鈴木さんからは、石器で削り作った丸木船で、台湾から与那国島まで航海したときの、海の様子等についての話をしていただく。 ※講演会メモ用紙
10	○浜名湖の環境を見つめよう。 ・課題を設定する。【（例）浜名湖の魚について、湖岸のごみについて、浜名湖の水質について】（各課題ごとにグループを作る） ・グループで学習計画を立てる。 ・学習計画に沿って、図書室の本やインターネットの資料、地域の方へのインタビュー等をとおして調査する。 ・調べたことを模造紙にまとめる。 ・クラスで各グループの発表をする。 ・発表したことをもとに、「伊目っ子発表会」（学習発表会）で浜名湖の自然環境についての発表をする。	※今までの学習を想起させ、もっと知りたいことを課題をして設定させる。 ※各課題グループごとに集まり、学習計画（調査方法、各担当決め等）を立てさせる。 ※本の借り方、インターネットでの調べ方等は、事前に指導しておく。 ※発表は、教室で各グループごとで行う。各発表後には、質疑応答の時間を確保し、交流の場を設定する。 ※発表後、学習をとおして自分が考えたことを書かせたり、自分にできることを考えさせる。「伊目っ子発表会」（学習発表会）では、そのことについて披露する場とする。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　２１　時間中の　２　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2.　本時の目標

・浜名湖に流れ込む川や浜名湖の水質を調べることをとおして、浜名湖の水質環境についての理解を深め、環境保全に対する意識を高める。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
○講師の方の紹介と挨拶をする。	※浜松市環境政策課の方に来ていただき、地域の川や湖の水質を調べるとともに、水質を保つことの重要性についての話を聞く。
○浜名湖に住んでいる生き物にはどんなものがあるのかを発表する。 ・ウナギ ・スズキ ・ドウマンガニ	※前時（浜名湖の生き物を調べよう。）の学習を想起させる。
浜名湖の水はきれいだろうか。	
○浜名湖や周辺の川の水は、きれいなのかを予想する。 ・湖岸にごみが多いので、きっと汚いと思う。 ・浜名湖の水は、最近きれいになってきたという話を聞いたことがあるので、きれいだと思う。	※これまでの生活経験の中から、予想させる。
○浜名湖と地域の川（神田川）の水質を調べる。 ・調べてみたら、湖や川には洗剤が入っていることが分かり、びっくりした。 	※浜松市環境政策課の方から、水質検査方法を聞く。 ※今回は、水の中に含まれる界面活性剤の量を測る実験を行う。 ※水質調査キット（川の水調査セット、パックテスト）

○水質検査の結果で分かったことや考えたことを発表する。 ・調べてみたら、湖や川の水には洗剤が含まれていることが分かりびっくりした。 ・自分たちの家から出る水が、川や湖を汚す原因の一つであることが分かった。	※なぜ、水の中に洗剤が含まれているのか理由を考えさせる。
○講師の方から、浜名湖の水質についての話を聞く。 	※講師の方から話を聞き、便利で豊かな生活が自然環境を悪化させる一因となっていることに気付かせる。
○学習のまとめをする。 浜名湖や神田川の水には、少し洗剤が含まれている。これは自分たちが家で使っている洗剤が川や湖に流れているからだ。これからは、家で皿やコップを洗うときは、洗剤を使いすぎないようにしたい。	※子供たちがこの学習をとおして分かったことや考えたことを自分の言葉で書かせるようにする。

3.　今回の活動の自己評価

・水の汚れ具合を測る指標として、水の中に含まれる界面活性剤の量を測るテストパックを利用した。界面活性剤は洗剤に含まれることを説明した後、実験したことで、子供たちは自分の生活と環境を結びつけて考えやすくなり、学習効果が高まった。

・専門家の方から、浜名湖の自然環境に関わる話を聞くことで、普段見慣れている浜名湖についての環境について再考するよい機会となった。子供たちの意識を高める効果が高いと感じた。

4.　今後の課題

・専門家の方から話をしていただく前に、子供の実態を話し、学習の目的を果たすためにどのような話をしていただくとよいかについて、事前打ち合わせをきちんとしておくと、より学習の効果が高まると思う。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・事前に測定したい川と湖の水を取り、水温などに気をつけて保存しておく。 ・パックテストの種類と数を事前に確認し、用意しておく。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

　　フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

　　例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。